



本市は国際認証制度であるセーフコミュニティ認証の取得を目指しています。

## セーフコミニユニティいすみおおつ

第  
12  
回優先課題の解決に向けて  
方向性と対象の検討が続く

## コラム 「セーフコミュニティ認証の7つの指標」

セーフコミュニティ活動は、世界保健機関（WHO）地域安全向上推進協働センターが推奨する取り組みで、国際認証制度となっています。次の7つの指標を満たす活動の2年以上の実績により、認証取得となります。

## ■ 認証を受けるための指標

- |      |   |
|------|---|
| 指標 1 | 分野の垣根を越えた協働を基盤とした推進組織が設置されているか。                 |
| 指標 2 | 全ての性別、年齢、環境・状況をカバーする長期にわたる継続的な取組みが実施されているか。     |
| 指標 3 | 事故やけがに遭いやすい人々や環境などを対象とした安全性を高めるための取組みが実施されているか。 |
| 指標 4 | 根拠に基づいた取組みであるか。                                 |
| 指標 5 | 事故やけがが発生する頻度や原因を記録する仕組みがあるか。                    |
| 指標 6 | 取組みや効果、影響を測定・評価するための評価基準があるか。                   |
| 指標 7 | 国内・国際的なセーフコミュニティネットワーク（情報交換等）へ継続的に参加しているか。      |

5月28、29日に、第7回分野別対策委員会を開催しました。昨年11月に設置されてから、月1回のペースで開催している対策委員会ですが、今回は、前回に引き続き、対策委員会で検討した優先課題の解決に向けて「方向性と対象」について考えました。

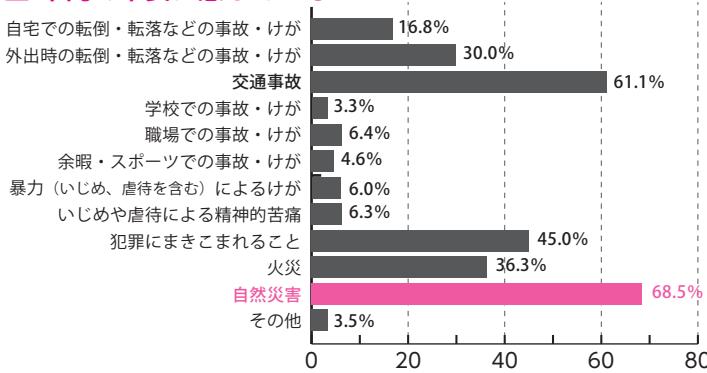
今後どういった年齢層や場所などの対象に力を入れていくと効果的か、また各委員が所属す

る団体ではどのような安全・安心の取組みが行われているかなどを話し合いました。



対策委員会では活発な議論が行われています

## ■ 市内で不安に感じていること



出典：泉大津市「セーフコミュニティ」アンケート集計結果報告書（平成26年9月）より作成

されました。

大阪湾沿岸に位置する本市は、被害想定において、津波による浸水が想定されることや、アンケートで市民が不安に感じている事柄として最も多かった回答が「自然災害」であることなどから、災害安全を重視することとして、本委員会が設置されました。

**対策委員会のご紹介**  
**「災害安全対策委員会」**

災害安全対策委員会は、消防団や自主防災組織連絡協議会、赤十字奉仕団など19人の委員で構成しています。

## 地域のつながりと安全への意識を高めるために…

重点課題に対して設置された対策委員会での話し合いも具体的になってきました。委員の皆さんには、まちの特徴を考えながら、安全なまちづくりに向けて活発に知恵を出し合っています。

各対策委員会で共通する方向性は、地域の「つながり」と市民一人ひとりの安全への「意識」づくりです。一見、「安全向上」に関係なさそうな地域活動への参加も、いざというときの安全の確保につながります。楽しく継続できる取組みを期待しています。

JISC 代表理事  
白石陽子氏のコメント

